

❖ 科目名 Course Title			
一般教育演習 (フレッシュマンセミナー) スポーツと身体を考える			
❖ 担当教員 Instructor			
山崎 貴史			
❖ 開講学期 Semester	後期	❖ 対象学年 Year	1～
❖ 履修可能人数 Capacity	10 (遠隔)	❖ 単位数 Number of Credits	2
❖ 授業形態 Type of Class	演習		

❖ キーワード Key Words	
スポーツ 社会 身体	
❖ 授業の目的 Course Objectives	
❖ 授業概要 Course Description	
<p>スポーツは単なる遊びのほずなのに、現代社会においては大きなお金や多くの人を動かすまでになっています。ボールを打ったり、蹴ったりする人が何億円ものお金をもらうように、私たちが暮らす社会において、スポーツは身近で当たり前のものとなっています。本授業では、こうした当たり前を疑い、スポーツを時に批判的に見ながら、社会との関係でとらえていく力を身につけることを目指します。</p>	
❖ 到達目標 Course Goals	
<ul style="list-style-type: none"> ・ スポーツ、身体と社会の関係を理解するための基本知識を学び、社会的問題との関連でスポーツについて考える力を身につけること ・ ディスカッションを通して、スポーツにまつわる問題に関して、自分自身の意見を論理的に説明する力を身につけること ・ スポーツについて考えるための幅広い思想を学び、思考の幅を広げること 	
❖ 授業計画 Course Schedule	
<p>本授業は、講義形式とグループワーク形式で行う。</p> <p>講義</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 オリエンテーション：スポーツと身体を社会との関連で考える 2 スポーツとは何か？：スポーツの誕生と社会の変容 3 身体とは？：身体と社会の関係性 4 スポーツと身体(1)：スポーツの興隆と身体（におい、穢れ） 5 スポーツと身体(2)：スポーツとジェンダー 6 スポーツと身体(3)：疾病と病い（健康と身体） 7 スポーツと障害(1)：障害のある人のための多様なスポーツのあり方 8 スポーツと障害(2)：自分ではしならないマラソン？ 9 スポーツと障害(3)：動かないからだ一脳性麻痺者の身体の可能性 10 質的調査法について 11 私の自分史：個人史を書くことと科学 <p>グループワーク・・・個人史を書く、レポートを提出する</p> <ol style="list-style-type: none"> 12 自分の歴史を振り返る 13 自分の歴史、経験を人に語る 14 自分の歴史を分析する 15 自分の歴史を文章化する 	
❖ 成績評価 Grading System	
<p>出席、ディスカッションへの参加度、最終レポートを総合して判断します。 授業に必ず参加すること、ディスカッションに積極的に参加すること、授業で学びつつ自分で考えること、この3つを心がけてください。</p>	

❖ テキストTextbooks
❖ 参考書Reading List
スポーツを「する」だけでなく、テレビを通して、競技場やスタジアムに足を運びスポーツを見ることを心がけてもらいたい。 また、自身が取り組む・好きなスポーツだけでなく、さまざまなスポーツを見てもらいたい。
❖ 準備学習Homework
❖ オフィスアワーOffice Hour
❖ 連絡先 (E-mail) E-mail
❖ 質問・相談への対応方法Contact Information
❖ 履修上の注意Notes
❖ 備考Other Information

※「対象学年」と「単位数」は、科目提供大学における数字であり、受講大学に応じて異なるので、所属大学で確認してください。

※「履修可能人数」は、科目提供大学以外的人数であり、遠隔と対面それぞれの受講形態で履修できる人数を示しています。(例.5(遠隔), 5(対面):遠隔授業で5名, 対面授業で5名まで履修可能。)

※北海道大学の対面授業は、教室の収容人数によって履修できない場合があります。